

第 48・49 回研修生 サンフランシスコでの合同研修 No.3

2023年4月27日

訪問先：① Ed Roberts Campus（障がい者団体キャンパス）

Ed Roberts Campus は、カリフォルニア大学バークレー校の学生で、1972年自立生活運動のリーダーであった Edward Roberts の名前を冠した建物である。キャンパスと名はついてい[※]るが、大学等の校舎ではなく、Center for Independent Livingから派生して生まれた様々な障がい児・者支援団体が入居している。2010年に現在のキャンパスができた。

アクセスしやすいようバート（鉄道）の駅と直結している。車いすでも並んで話せるように通路は広く、ドアは足でも開けられるよう下の方にもボタンがある。視覚障がい者のため噴水で位置を知らせ、廊下の床の素材を変えている。



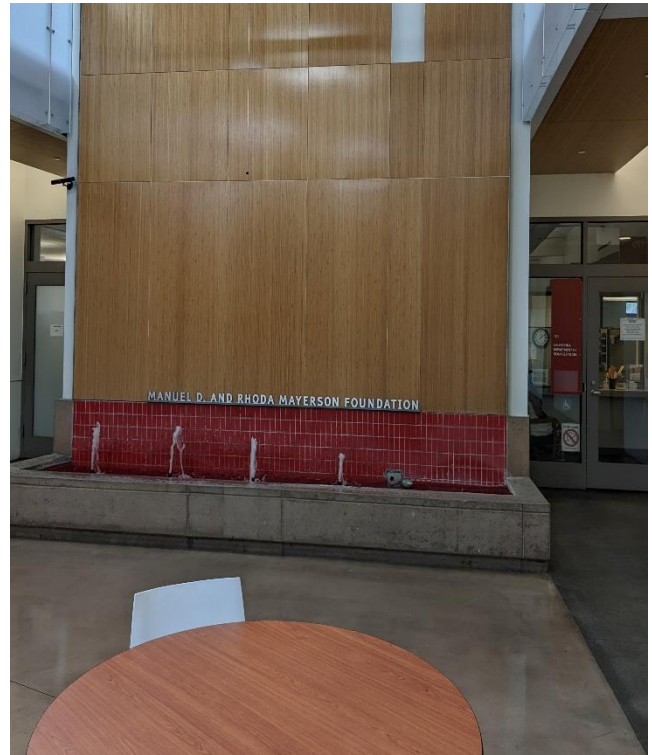
※Center for Independent Living（CIL：自立生活センター）

世界中に広まった自立生活センターの事務所。現在全米に400以上のCILがあり、横の連携でつながっている。

脚で開けられるよう下部にボタンがある



視覚障がい者のため噴水で位置を知らせる



訪問先② Through the Looking Glass (障害をもつ親、子のための支援団体)

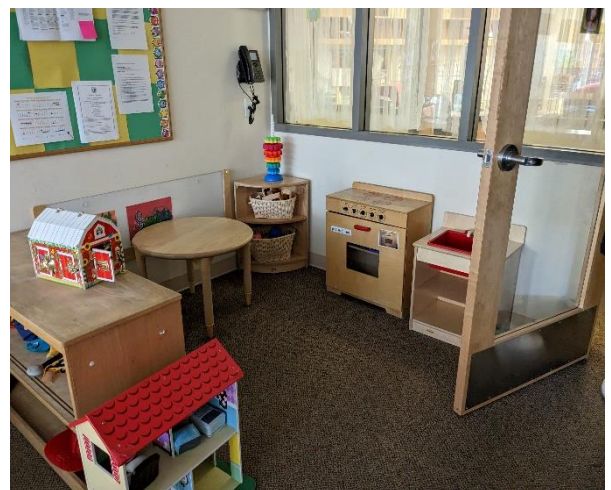
1982年創立。もともとCILメンバーだったベスさん夫妻により設立。Early Head Start と呼ばれ早期介入プログラムを開発し、妊娠中から家族支援を始めている。

障害を持つ親の子育て、障害を持つ子の発達、きょうだい支援を主に訪問して行う。

施設内には保育園があり、通ってサポートを受けることもできる。



障害があっても使えるよう工夫された抱っこ紐

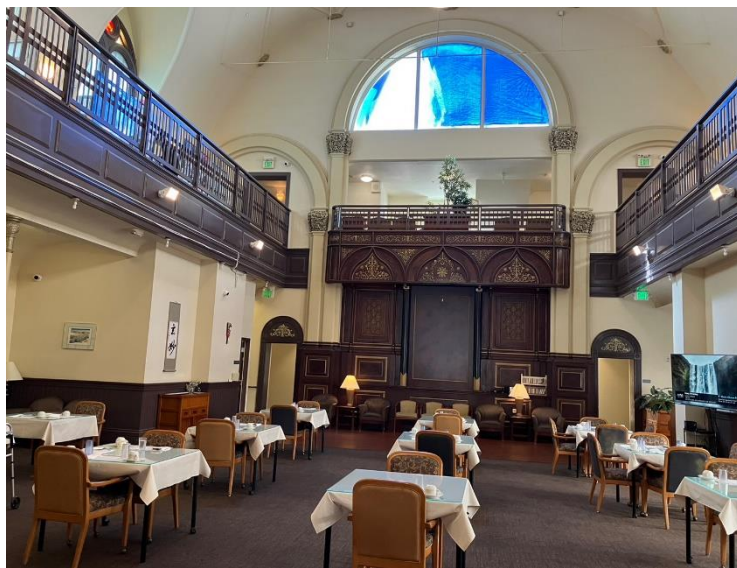


2歳児の部屋

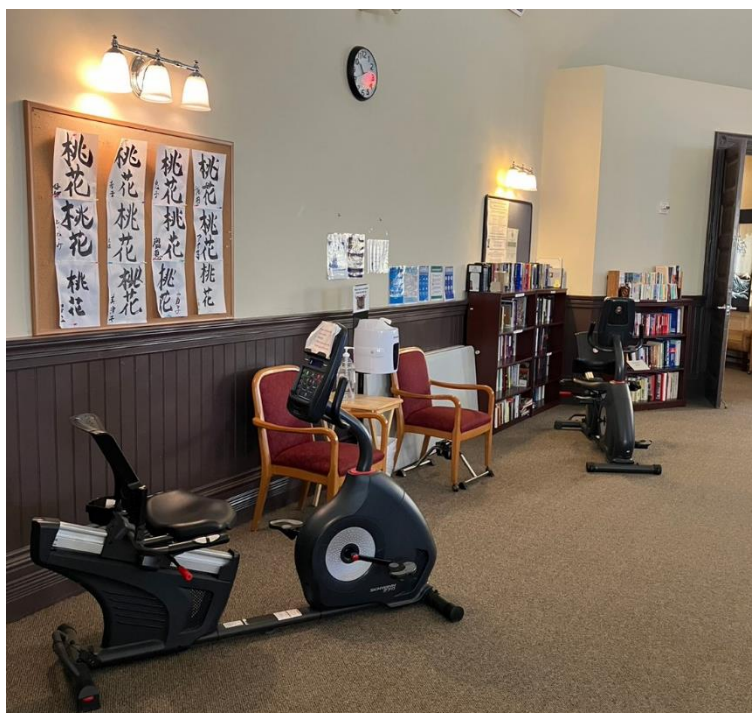
2023年4月28日

訪問先：① KOKORO（日系高齢者サービス）

もともとユダヤ教のシナゴグ(礼拝所)だった場所を改装し、老人ホームとしている。
ゆったりとした空間で、レストランのように食事がとれる食堂、部屋はとても広く、
ベッドのほかにソファ、バスルームがついて落ち着いた空間となっている。
書道などの日本的な活動や日本語の本もある。



ゆったりとした食堂



書道、日本語の本などが置かれている空間

訪問先：② Kimochi（気持会：日系高齢者支援団体）

1971年、20代の学生によって設立。祖父母の書類等の書き方を手伝うところから始まり、食事の支援、自分で移動できる方向けの高齢者住宅等を提供している栄養バランスの取れた日本風の食事を提供している（配食サービスあり）。

ホームの前には日本風に整備された庭



この日のメニューはおでん



4月28日

講義：「カリフォルニアにおける発達障害サービスについて」

講師：伊藤いねこ先生（MA スーパーバイザ）

